廿日市市地域公共交通計画※の改訂について

1 目的

公共交通計画に位置付ける事業のうち、一部の事業を地域公共交通利便増進事業（以下「利便増進事業」という。）として利便増進実施計画の認定を受け実施しており、広電バス津田線利用促進事業（議案第1号）を実施するにあたり、当該事業を公共交通計画に位置付ける必要があるため。

2 改訂内容

地域公共交通計画の該当箇所（72 ページの表中、「ねらい等」の区切りの最後）に、次の字句を加える。

「津田～廿日市間の路線バス利用者の運賃負担を軽減し、利用を促進」（次頁参照）

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正されたことにより、廿日市市地域公共交通網形成計画は「廿日市市地域公共交通計画」（以下「公共交通計画」という。）と、廿日市市地域公共交通再編実施計画は「廿日市市地域公共交通利便増進実施計画」（以下「利便増進実施計画」という。）とみなされます。

第7章 計画に位置づける事業及びその実施主体

1. 事業内容

前章で示した目標を達成するため、次の事業を計画に位置づけます。

事業1 利用状況や地域の実情に応じた地域間幹線の再構築

地域公共交通再編事業
として実施予定

実施主体：廿日市市、交通事業者、地域

想定事業年度：平成30年度～

事業内容	吉和方面の路線の見直し再構築
ねらい等	● 少子高齢化、人口減少等により利用が減少している地域間幹線、広電バス佐伯線（上栗栖・吉和）を持続可能な運行形態に再構築 ● 既存の広電バス佐伯線（上栗栖・吉和）のうち、利用が少ない津田～吉和間について、系統を分離し車両を小型化することで運行効率を向上 ● 地域における定住や地域間交流を促進する観点から、運行便数を設定するとともに、津田～廿日市間の路線バスに接続することで、市街地への移動利便性を確保 ● 津田～廿日市間の路線バス利用者の運賃負担を軽減し、利用を促進
運行形態	一般乗合旅客運送（定時定路線型）
運行経路	吉和車庫～津田～さいき文化センター
付帯する事業	● 吉和福祉センターにおける交通結節点整備 ● さいき文化センターにおける交通結節点整備